

## 令和3年度 第1回 新潟市白根地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和3年6月28日（月）午前10時から午前11時40分

場 所： 白根学習館2階 ルーム1・2

出席者： 新潟市白根地区公民館運営審議会委員 本多委員、小林委員、小松委員、諸原委員、山崎委員  
浅間委員、野本委員、富井委員、栗田委員

事務局： 白根地区公民館 和田館長、小林、土田（純）、田中、高森、渡辺、関根、八木、大川原、田部  
味方地区公民館 村山館長、海藤  
月潟地区公民館 相馬館長、武田

### 1 開会

### 2 白根地区公民館長あいさつ

### 3 委員自己紹介

### 4 公民館職員自己紹介

### 5 議長・副議長選出

### 6 議長・副議長あいさつ

### 7 議事

#### (1) 令和2年度公民館事業報告について

(事務局) 「令和2年度公民館事業報告」について、白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の各館長が総括し説明。

(浅間委員) 新型コロナウイルス感染症拡大の中で、工夫してやっていると思っています。大変ご苦勞様でした。

(小松議長) 白根地区公民館では「A」の評価の事業がいくつかありますが、「A」をつけた理由をお話いただけますか。

(和田館長) コロナ禍において、定員を絞って事業を開催する中、募集定員を超えた事業において応募者全員から講座に参加してもらうため、中止となった事業の予算などを活用し、午前、午後の2回開催することで学びの機会を確保したことから「A」と評価させていただきました。また、白根地区公民館では、地域の方や区役所などと一緒に南區唯一の高校、白根高校と連携し、高校生を対象にして地域課題に向き合う取り組みに力を入れています。この取り組みは、これからを担う「若い力」の育成として、マスコミや社会教育の全国大会などでも事例紹介され、対外的にも評価を受けたことから「A」とさせていただきました。

(本多委員) 去年、本当に苦しい中で、さまざまな事業、できる事業を展開していただき感謝しています。

#### (2) 令和3年度新潟市公民館事業の基本方針について

(事務局) 「令和3年度公民館事業報告」について、白根地区公民館和田館長が説明。

(小松議長) 5つの基本施策がありますが、この重点項目について皆さんが事業を展開しているという理解でよろしいですか。

(和田館長) ご指摘のとおりで、資料1、資料3の「重点」に整理されているものが、5つの基本施

策です。その施策に沿って、白根地区公民館では令和2年度は62事業、味方地区公民館では21事業、月潟地区公民館では16事業について実施しています。

### (3) 令和3年度公民館事業計画および実施状況について

(事務局) 「令和3年度公民館事業計画および実施状況」について、白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の各館長が総括し説明。その後、主な事業について各担当から説明。

(野本委員) 昨年に続き「地域学」をやるようですが、内容に違いはありますか。

(事務局) 昨年度は「白根郷の人々の暮らしと信仰」、今年度は「中ノ口川と地域の歴史」ということで違った内容となっています。

(野本委員) 内容はどのような方々が中心となって決めていますか。白根の中でも例えば庄瀬地区、小林地区など、中央から外れた地域にも歴史があるのですが、住民の方のニーズを聞いて決めているのでしょうか。

(事務局) 昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、公民館主導で内容を決めさせていただきましたが、今年度は、昨年度出席した方の中から企画委員を公募し、企画会議を設け、テーマ、主題について意見を出してもらい内容を決めました。

(小松議長) 企画委員の皆さんと内容を決めたということでしたが、先程、地域住民のニーズという意見がありましたので、事務局の方から心に留めていただきたいと思います。

(浅間委員) 体験談になりますが、「郷土再発見！南区まち歩きガイド体験セミナー」を案内ボランティアで体験しまして面白かったです。なぜかと思ったら、場所、場所に全部自分の思い出があるのです。例えば「洪水を止めた米俵」は私の祖父が関係していて、子どもの頃、その話を聞いたことなど、そういう思いを持って参加させていただきました。

(小松議長) 浅間委員にはマッチした事業だったんですね。公民館の皆さんも、また、地域の課題を見つけながら事業を展開していただければと思います。

(小林委員) 初めてこの会に参加させていただいて、学校現場も同じですが、新型コロナウイルス禍でいろいろな制限がある中、人気のある講座は1回の参加人数を減らして回数を増やすとか、ズームを利用するとか工夫して事業を行っていると思いました。あとは白根高校との連携の強化を図っていることが分かり、大変勉強になりました。

(富井委員) 同じ話になりますが、コロナ禍の中で、私も児童館運営をやっていて、どういう形だったら開催できるかということで非常に悩むので、新規事業をたくさん立ち上げておられることに頭が下がる思いです。「しろね絞り」が好きで、費用的に難しい面もあるかと思いますが、小学生、中学生、高校生に例えば体験は難しくても見学する機会を与え、すごい文化財があるということをもっと知ってほしいです。

(山崎委員) これまで私たち「サークル絞り」では、小林小学校や茨曾根小学校、そして第一中学校でしろね絞りの歴史を伝えてきましたが、技術指導もボランティアで行っていて、今では北中の19名の生徒がしろね絞りのハンカチ作りに取り組み、バザーなどで販売しているそうです。こうしたことが広まり、他の学校からも依頼が集まるようになりました。少しずつですが、「しろね絞り」が学校にも浸透してきています。コロナの影響で今年も休んでいますが、白根小学校ではクラブの時間を設けて、子供たちが世界で1つだけのハンカチ作りに取り組みました。

(富井委員) ありがとうございます。公民館、児童館と一緒にやれたらいいなと思いました。

(和田館長) 白根地区公民館には、陶芸において素晴らしい窯があります。その隣に「しろね絞り」の皆様が使っている部屋があります。大人向けの育成プログラムは2年間の取り組みですが、子ども達に体験してもらい、大切なところを短時間でどのように伝えていくことができるか研究していきたいと思います。

(諸原委員) 公民館活動に全く無関心の層もあると思うので、それを掘り起こすという活動も必要な気がします。今日はいろいろ勉強させていただきました。

(栗田委員) 「白根高校とのまちづくり連携事業」がありますが、私も音声訳のお手伝いをして高校生と一緒に取り組んできました。

(野本委員) コロナ禍でこれだけの事業をやるのは大変なことだと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(小松議長) ありがとうございます。

## 8 その他（連絡事項等）

(小松議長) 予定されていた議題のほか、事務局から何かありますか。

(事務局) 「ラスペックホール天井改修工事」について説明。

質疑なし

(小松議長) 皆様からご意見いただき、活発な議論が出来たと思っております。ここで事務局と交代します。

(事務局) 皆様、長時間のご審議、ご意見、またご感想等いただき、ありがとうございました。いただいた意見を参考に今後の事業実施や運営に役立てていきたいと思っております。以上で白根地区公民館運営審議会を終了いたします。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

## 9 閉会